



藤花

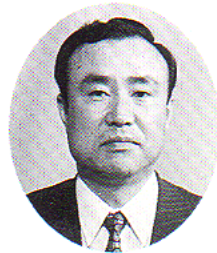
倉敷商工会議所青年部
 倉敷市白楽町249-5
 TEL(086)424-2111(代)
 発行人 高橋 廣道
 編集 総務委員会



TOUKA

ビッグバンの時代を迎えて

青年部監事 西坂典比 古氏



え個人の海外での口座の開設をも認めた画期的なもので、過去の原則許可制から届け出制へ大きく改正されたものでもありません。

私どもの窓口におきましても外貨預金の作成などに数多くのお客さまがおみえになり、市井のアマチュアが替評論家(?)の登場を見るにつけ、市場の流れの速さに唖然としたものでした。

法制、税制、会計制度を導入する事であり、

「ビッグバン」といいますと私ども金融機関(とりわけ銀行)だけの話のように思っておられる方も多く存じますが、前述の如く「ビッグバン」の基本理念であります「フリー」、「フェア」、「グローバル」の三原則は全ての企業に当てはまるものであり、我々倉敷商工会議所青年部の諸兄がそれぞれの企業の将来を夢見るとき、決して忘れてはならない理念であると確信致します。

ここで現在の企業を取り巻く状況について簡単に触れておきたいと思えます。

既存の枠組みが大きく変貌していく課程の中で、企業の対応も当然変わっていくものと思われまます。企業を取り巻く金融環境はビッグバンの進展により長期的には量的に充実してくると

考えられるものの、昨今の金融環境を見ると、景気の悪化も相まって、資金調達が困難になっている企業も現存する事実から目をそらすわけには行きません。

しかし一方で、新たな金融商品の活用による従来ない総合金融サービスを活用できる等企業にとつてのメリットも存在していると考えられます。

今後、企業が前述のような予想されるデメリットを回避し、金融システム改革によるメリットを享受するためには、金融機関がグローバルスタンダードへと移行していくのに合わせ、企業も自らが財務内容の改善や、経営・財務管理能力の向上を図る等の自己改革に努めていく事が大切であると思えます。

さて前号で高橋会長のお言葉にもありましたように、正に、日本にとりましても今が正念場であると言えます。このような時こそ会員全員が青年部会の活動理念を十分に理解し、忌憚のない意見を聞かせ、自信を持って実行に移していく事が大切であると信じます

私も微力ながら精一杯頑張っていこうと思っておりますので宜しくお願い致します。

『ビッグバン』の幕開け

二〇〇一年までに、東京市場をニューヨーク、ロンドンに並ぶ国際金融市場に再生する事を目標として「日本版ビッグバン」構想が打ち出されたから、早や二年の月日が流れました。

そして今年四月、その第一弾として改正外為法(外国為替及び外国貿易法)が施行されました。この改正外為法は、居住者間の外貨による決済やネットイ

ング(輸出入の差額決済)に加

『ビッグバン』の三原則

そもそも、「日本版ビッグバン」の基本は「フリー」、「フェア」、「グローバル」の三原則であります。

即ち、「フリー」―市場原理が働く自由な市場内において商品設計や価格設定が自由に行われること、「フェア」―明確で透明なルールのもとで公正で信頼できる市場を作ること、そして「グローバル」―国際化時代を展望し、世界水準に対応した

『ビッグバン』を活きる

既述の枠組みが大きく変貌していく課程の中で、企業の対応も当然変わっていくものと思われまます。企業を取り巻く金融環境はビッグバンの進展により長期的には量的に充実してくると